

第三者評価結果

事業所名：入道雲

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a

<コメント>

利用者の8割は言葉での意思確認が難しいため、写真や絵カードを使用したり、それでもイメージがつかめない方には現物を呈示したりして、利用者個々の特性に合わせた関わりを行っている。使用する絵カードは、利用者と一緒に考えながら作成している。利用者とのコミュニケーションをとり、スタッフ自身も楽しみながら仕事に携わっている。3年前より、県の「意思決定支援」のモデル事業に取り組んでいる。「意思決定支援」の取り組みは、少人数から始め、現在は20名の利用者を対象にして、口頭や写真などを使用して行っている。スタッフは担当の利用者と買物やラーメンを食べに行く機会などに、本人のニーズを汲み取っている。ボランティアと一緒に食事に行きたいなど、希望を伝えてくれる利用者もいる。

A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a

<コメント>

法人全体で権利擁護のマニュアルを整備している。また、職務規程や職務基準書にも、虐待防止や拘束防止などを示している。利用者との関係が良好なため、支援場面での言葉遣いなど、友達に対するような言葉掛けになることがある。言葉遣いについてのグレーゾーンなど、不適切な対応かどうか、スタッフ間で検討する他、他施設の職員のアドバイスも受けている。スタッフは、利用者の行動制限について、常に意識しながら活動している。行動制限しなければ危険を伴う場合も、そのことは利用者の自由の権利を奪うことではないかなど、グループ会議で具体的な行動について話し合いを行っている。洋服を着るとすぐに脱衣し、裸になる利用者に対しては、いろいろな素材の衣服を提供している。現在はワンピースを着て落ち着いている。その行為自体を問題にするのではなく、なぜ脱いでしまうのか、脱いでしまう原因を探り、背景にある原因を突き止めるようにしている。その方の生き方、感じていることを尊重しながら、日々の支援に携わっている。

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a

<コメント>

利用者の日中活動は、ポスティングやアルミはがし、自主製品のあられ作り、洗濯などさまざまあるが、どの活動に参加するかは、利用者本人に選んでもらっている。実際にやってみて楽しいと感じ継続している方もいるが、自分に合わないと感じた方には他の活動を選んでもらっている。利用者本人が自分で考え、選択できるようにしている。同じ活動でも、ポスティングはチラシを折る人、外に出る人、あられ作りは餅を切る人、揚げる人、袋に詰める人に分かれ、利用者一人ひとりがその方に合った、楽しい活動に参加できるようにしている。

【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b
--	---

<コメント>

コミュニケーション手段として写真や絵カードを使用している。また、独自の手話を使ってコミュニケーションをとっている利用者もいる。独自の手話は、担当のスタッフが表にまとめて車椅子に下げ、どのスタッフでも会話ができるようにしている。言葉でのコミュニケーションが困難な方が多いため、スタッフは常に利用者とのコミュニケーションについて課題があると考えている。4年前より、自閉症の子どもとのコミュニケーションの研修で学んだ「SCERTSモデル」を、数人の利用者を対象に活用している。困ったときに急に走り出す行動が軽減したり、遊びの中にスタッフが一緒に関わることで大声を出すことが減少したりと、取り組みの効果がでてきていると感じている。

<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>b</p>
<p><コメント></p>	
<p>利用者と関わる時間を多く持ち、利用者と話す機会をできるだけ作るようにしている。本人からの相談は担当者に言うことができる。家族に会いたい、墓参りに行きたいなどの相談があった場合は、利用者の意思を尊重し、できるだけ早急に実施できるようにしている。実際に家族に会いに行ったり、墓参りに行って、利用者は満足している。女性のスタッフには言いにくい場合は男性のスタッフが聞いたり、また、逆のケースに対応できる体制を整えている。個別支援計画の話をする時などは、落ち着いてゆっくり話ができるよう、施設内の相談室を使って、利用者の話を聞いている。</p>	
<p>【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>b</p>
<p><コメント></p>	
<p>個別支援計画は、利用者の担当と日中活動のスタッフと、サービス管理責任者が話し合い素案を作成し、グループ会議で検討して、サービス管理責任者が作成している。グループ会議では、支援計画の文言をもっとわかりやすくし、フリガナを振った方がよいなど、細かな意見が出る。計画は半年ごとに見直し、利用者話し合いながら修正している。日中活動や休みの日には「そば作り」をやりたい、マクドナルドに行きたい、洋服を買いに行きたい、博物館に行きたいなど、利用者から多くの希望を聴いている。夏休みにはお盆プログラムやプール遊び、12月にはスタッフと一緒にご馳走を食べながら新年を祝うなど、利用者にとって楽しい計画となるよう心掛けている。</p>	
<p>【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント></p>	
<p>知的障害や自閉症などにより、利用者一人ひとりがその人に合った個性のある生活を送っている。穏やかに生活している方、元気に走り回る方など、さまざまである。自傷や他害がある場合などは、その前後に何が起きたのか、心の水面下で何が起きているのかを汲み取るようにしている。早急に解決しなければならない場合はすぐに対応し、時間が必要な場合はスタッフ会議などで解決策を検討するようにしている。いずれの場合も、スタッフが一人で抱え込まないように協力し合っている。スタッフに対し他害があった場合は、そうなってしまった環境を作ってしまったことを反省し、スタッフ間で今後の関わり方を検討して共有している。</p>	
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント></p>	
<p>利用者に提供する食事は、個々のニーズや希望を大切に提供している。栄養士が献立表を作成し、利用者個々の栄養計画を立てている。ペースト食や刻み食、常食などの食形態は、栄養士や作業療法士、言語聴覚士などが身体状況に応じて、利用者本人と相談しながら提供している。咀嚼せずすぐに飲み込んでしまう方には小鉢で提供したり、偏食の方には食べられるものへ代替えしたり、異食のある方には環境の整備をしたりと、個々に応じた対応を支援計画書に記載している。食前と食後に入浴の時間を設け、利用者は好きな時間帯に入浴している。利用者の8割は排泄が自立しており、その他の方はスタッフが声掛けして誘導している。失禁があっても、すぐにおむつ対応はせず、おむつは基本的に使わない考えで支援している。「この人はこう」と決めつけず、どうアプローチしていくかを常に考え、支援している。</p>	
<p>A-2-(3) 生活環境</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>a</p>
<p><コメント></p>	
<p>利用者の居室の掃除は、間接スタッフにより定期的に行っている。全室個室を提供し、利用者が安心して生活できることを優先し、居室内の配置は利用者自身が決めている。部屋の中一杯に物を置いておくことで安心する方には、片付けても安心できるような状態にしている。人との関わりを好まない方は、自室でずっと好きなことを行っている。食事などの声掛けでスタッフが居室のドアをノックすると、その時は自分で食堂に出てくるなど、安心した自分らしい生活を送っている。転倒防止のために柱の角をカバーするなど、環境に配慮している。利用者は居室に置くソファなどを購入して、安心できる「自分の家」を各自作り上げている。</p>	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>作業療法士を配置し、また同一建物内の水平線に勤務する理学療法士の協力を仰ぎ、希望する利用者に対して機能訓練を行っている。作業療法士が個別のリハビリテーション計画を作成し、プログラムメニューを提供している。利用者の平均年齢が50歳を超えたことから、体力や筋力の低下も考えられるため、生活の中でのリハビリテーションも行っている。下肢の筋力低下防止のため、作業療法士の指示のもと、スタッフ付き添いで小さなバランスボールでの足踏みや、階段の昇降などの訓練を生活の中で行っている。リハビリテーション計画は、3ヶ月に1回、本人と話し合いを持ちながら見直しを行っている。</p>	
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者の健康状態は、日々の生活の中で、食事や排泄、顔色、表情などにより、スタッフ全体で把握している。少しでも様子に変化がある時は、栄養士や看護師、作業療法士などの専門職と連携を取りながら対処している。栄養士は栄養マネジメントを各個人に行っており、看護師はてんかん発作がある方が数名いるので状態把握や服薬管理を行っている。服薬時は看護師、日勤者、夜勤者など、複数で確認して誤与薬を防いでいる。服薬に関してのマニュアルは、スタッフ全員が周知している。マニュアルは年1回見直し、スタッフが内容を確認している。日常生活の中では、排便コントロールが難しい利用者が多く、3～4日目には服薬や座薬を使用している。法人で健康に関する職員研修を行い、また、喀痰吸引の研修を受けているスタッフもいる。</p>	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b
<p><コメント></p> <p>現在、医療的支援を必要とする利用者はいないが、法人で医療的支援者マニュアルを整備している。第3号資格取得者（特定の利用者に対する喀痰吸引の資格）はいるが、利用者の中に支援を必要とする人はいない。登録喀痰吸引事業者としての登録は行っており、受け入れの体制は整えている。コロナ、インフルエンザなど感染症に対し、BCP（事業継続計画）を策定しており、緊急時にはそれに基づき対応することとしている。感染症の発生に備え、嘔吐物処理の研修などを法人で行い、スタッフが参加している。</p>	
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>利用者が地域の運動会などの行事に参加している。近くの運動公園などを利用して、利用者は身体を動かし楽しんでいる。また、秋祭りなどのイベントを企画し、地域の方々の協力を得て開催している。元花火師のスタッフとともに花火大会を計画したり、夏は盆踊りなどを実施している。後援会の方たちの協力を得て、利用者の着付けを手伝ってもらうなど、地域社会との関係性は深い。今後もさらに社会参加が増えるような支援を考えていきたいと考えている。</p>	
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>法人の理念「誰もが地域で暮らせるために」を目標としているが、家族の高齢化などにより、家での支援が困難になり、地域の中にあるこの施設を利用している。そのため、ここからまた地域へ移行して生活したいという希望者は少ない。以前、グループホームに移行した方は、見学や数日間のお試し期間を設け、本人が納得してから移行を行っている。段階を踏んで、丁寧な地域移行を進めている。</p>	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント>	
<p>家族とは年2回、個別支援計画作成時に面接している。また、家族懇談会を開催して、施設長や課長、主任などが参加し、施設の計画や報告、意見交換を行っていたが、コロナ禍で密を避けるため中止となっていた。コロナ禍は面会もできず、直接利用者と会うことができない時期が続いていた。そのため、月1回、お知らせを送付する際に、日常生活の状況などを細かく伝えている。家族の高齢化も進み、親が入院したなどの連絡が入ることがある。家族の世代交代も見られるようになってきている。成年後見制度を活用している方も7名ほどいる。スムーズな後見制度の活用を、法人全体で後押ししている。</p>	

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	第三者評価結果
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント>	
<p>障害者の施設入所支援、生活介護の事業所のため、評価外とする。</p>	

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント>	
<p>障害者の施設入所支援、生活介護の事業所のため、評価外とする。</p>	
【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	
<コメント>	
<p>障害者の施設入所支援、生活介護の事業所のため、評価外とする。</p>	
【A19】 A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント>	
<p>障害者の施設入所支援、生活介護の事業所のため、評価外とする。</p>	